

令和6年度

社会福祉法人 富津市社会福祉協議会

事業報告書

社会福祉法人 富津市社会福祉協議会

I 事業概要

令和5年度に、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に引き下げられてから、イベントの復活や国内外への旅行客の増加といった動きがあり、地域住民の生活や活動においても、以前の日常を取り戻しつつある状況になってきました。しかしながら、生活スタイルの変化や物価高騰等により依然として経済状況に課題を抱える世帯が多くあるのも現状でありました。

このような状況の中、本会は地域福祉を推進する中核的な組織として、重点事項を掲げ各種事業に取り組みました。

「地域福祉事業の発展」においては、各種事業を行いながら、会員組織としての協議体機能とし理事会、評議員会を開催し、事業検討を行いました。

「高齢者・障がい者福祉事業の推進」については、受託2年目の「富津市大佐和地区地域包括支援センター」では、年間311件の相談対応を行い、高齢者福祉の充実を図り、また、「ふつつ後見支援センター」では、地域社会で自立した生活を送れるよう、福祉サービスの情報提供や日常生活自立支援事業の利用促進を図り、認知症高齢者や障がい者等の権利擁護や福祉サービスの利用支援を実施した法人後見人として、被後見人である高齢者や障がい者の財産を管理し、生活の安定に努めました。

以前より組織全体として、人員不足が続いていたところではありますが、令和6年度においては、「富津市大佐和地区地域包括支援センター」の人員基準を満たすことができ、「本会」においても新規職員が年度途中に入職したことにより、事業運営が令和5年度と比較すると大幅な支援体制を改善することができました。しかしながら、「本会」としては、未だに人員が不足している状態であるため、今後も組織体制の強化を進めていきたいと考えています。

「ボランティア活動の推進」及び「福祉教育」については、新型コロナウイルス感染症の影響で活動できない期間が続いたことで、コロナ禍以前の活動から比較すると、低下しているのが現状です。ボランティアの高齢化等もある中で、ボランティアが安心して活動できるようにボランティア保険の加入促進等を行いながら、活動の活性化にも力を入れていくことが必要となっています。

生活困窮者に対しては、生活福祉資金貸付事業を実施するとともに、新型コロナウイルスの影響を受けた「新たな貧困層」への特例緊急貸付を行った世帯へのフォローアップを行い、償還猶予などについての情報提供や困りごとの聞き取りなど、継続的な支援を実施しました。また、本会が富津市より受託をしている「富津市生活困窮者自立相談支援事業」及び「富津市被保護者就労支援事業」（くらしと仕事の相談支援センター）とも連携し、生活困窮者へ支援を実施しました。

くらしと仕事の相談支援センターにおいても、就労支援に目標を掲げ、生活困窮者の自立を確保するために活動し、ハローワークとの連携支援において、君津4市の中で一番就労件数が多いという結果を出すことができ、目標を達成できました。

Ⅱ 法人運営事業

法人の事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うため、業務執行の決定機関である理事会、法人運営に係る重要事項の議決機関である評議員会、理事の職務執行の監査を行う監事で運営し、事業の推進を図りました。

また、評議員会より意見のあった役員及び評議員の学識経験者の選考について、理事で構成される「学識経験者選任委員会」を設置し検討の結果、「学識経験者選考委員会」を設置し選考することとしました。運用は令和7年度の役員及び評議員の一斉改選から適用することとしました。

今後として、自然災害、感染症など緊急事態発生時に必要な支援や福祉サービスが継続して提供できるよう「事業継続計画（BCP）」の検討、作成や組織体制の充実や補助金・委託金事業のあり方等での財政基盤の強化、人員配置に対する課題等、現在抱えている問題を明確化し、行政との協議や自主財源確保に向けた事業展開を行うために、組織の発展・基盤強化を目的とする中長期計画の策定が必要となっています。

1 会長・副会長会議

開催年月日	議 事
令和6年5月22日	第1回理事会に付議する案件について
令和6年6月3日	第2回理事会に付議する案件について
令和6年8月21日	第3回理事会に付議する案件について
令和6年12月11日	第5回理事会に付議する案件について
令和7年2月17日	第6回理事会に付議する案件について
令和7年3月17日	第7回理事会に付議する案件について

2 理事会

開催年月日	議 事	出席数
令和6年5月24日 (第1回)	1 社会福祉法人富津市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について	理事12 監事2
令和6年6月7日 (第2回)	1 令和5年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会事業報告について 2 令和5年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分決算について 3 令和5年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会公益事業区分決算について 4 令和6年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会第1回評議員会上程議案について 5 社会福祉法人富津市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について	理事13 監事1

開催年月日	議 事	出席数
令和 6 年 8 月 23 日 (第 3 回)	1 社会福祉法人富津市社会福祉協議会臨時的職員の任用等に関する規程の一部改正について 2 社会福祉法人富津市社会福祉協議会富津市大佐和地区地域包括支援センター臨時的職員給与規程の一部改正について 3 社会福祉法人富津市社会福祉協議会富津市生活困窮者自立相談支援事業及び富津市被保護者就労支援事業臨時的職員給与規程の一部改正について 4 社会福祉法人富津市社会福祉協議会問題対策委員会規程の全部改正について 5 社会福祉法人富津市社会福祉協議会中長期経営計画策定委員について 6 社会福祉法人富津市社会福祉協議会役員選出における学識経験者選任委員について 7 令和 6 年度富津市社会福祉協議会福祉バザーについて 8 第44回富津市社会福祉大会について	理事12 監事 2
令和 6 年10月16日 (第 4 回)	1 社会福祉法人富津市社会福祉協議会大佐和地区地域包括支援センター運営規程の一部改正について 2 社会福祉法人富津市社会福祉協議会大佐和地区地域包括支援センター指定介護予防支援事業所運営規程の制定について 3 大佐和地区地域包括支援センターの運営について 4 歳末たすけあい募金配分事業について 5 第44回富津市社会福祉大会の開催について	理事13 監事 2
令和 6 年12月13日 (第 5 回)	1 令和 6 年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会表彰について	理事13 監事 1
令和 7 年 2 月21日 (第 6 回)	1 令和 7 年度富津市社会福祉協議会事業について 2 社会福祉法人富津市社会福祉協議会会員規程の一部改正について 3 社会福祉法人富津市社会福祉協議会ふつつ成年後見支援センター設置規程の一部改正について	理事10 監事 2

開催年月日	議 事	出席数
令和 7 年 3 月 19 日 (第 7 回)	1 社会福祉法人富津市社会福祉協議会役員・評議員学識経験者選考委員会設置規程の制定について 2 社会福祉法人富津市社会福祉協議会役員・評議員学識経験者選考委員の選出について 3 令和 6 年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分第 1 回補正予算について 4 令和 7 年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会事業計画について 5 令和 7 年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分予算について 6 令和 7 年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会公益事業区分予算について 7 令和 6 年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会第 2 回評議員会の開催及び上程議案について 8 社会福祉法人富津市社会福祉協議会事務局長の任免について	理事 12 監事 1

3 評議員会

開催年月日	議 事	出席数
令和 6 年 6 月 24 日 (第 1 回)	1 社会福祉法人富津市社会福祉協議会理事の選任について 2 令和 5 年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会事業報告について 3 令和 5 年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分決算について 4 令和 5 年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会公益事業区分決算について	会長 評議員 14 監事 1
令和 7 年 3 月 26 日 (第 2 回)	1 社会福祉法人富津市社会福祉協議会役員・評議員学識経験者選考委員の選出について 2 令和 6 年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分第 1 回補正予算について 3 令和 7 年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会事業計画について 4 令和 7 年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分予算について 5 令和 7 年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会公益事業区分予算について	会長 評議員 17

4 監査会

開催年月日	議 事	出席数
令和6年5月31日	1 令和5年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会事業報告について 2 令和5年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分決算について 3 令和5年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会公益事業区分決算について	監事 2

5 評議員選任・解任委員会

開催年月日	議 事	出席数
令和6年5月29日	1 社会福祉法人富津市社会福祉協議会評議員候補者の選任について	委員 3

6 学識経験者選任委員会

開催年月日	議 事	出席数
令和7年2月21日	1 富津市社会福祉協議会役員及び評議員の学識経験者選任方法について	委員 6

7 広報啓発

本会が行う地域福祉活動についての理解を深めるため、広報活動として、「福祉ふつつ」年2回、市民・企業等へ発行しました。

また、本会ホームページ (<http://www.futtsushakyo.jp>) を利用し、福祉関係の情報提供を実施しました。

発行年月日	内 容
令和6年9月12日 (第100号)	1 創刊第100号に寄せて 2 「福祉ふつつ」第100号までの歩み 3 第22回富津市社会福祉協議会福祉バザー開催のお知らせ 4 令和5年度富津市社会福祉協議会会費・募金活動報告 5 職員募集 6 寄付金のお礼 7 令和6年能登半島地震災害義援金のお礼 8 エコキャップ・プルタブ・テレホンカード・使用済み切手収集のお礼

発行年月日	内 容
令和7年3月6日 (第101号)	1 令和6年度富津市社会福祉協議会表彰受賞者の掲載 2 第44回富津市社会福祉大会記念講演の報告 3 くらしと仕事の相談支援センターの紹介 4 フードドライブへのご協力をお願い 5 地区別ボランティア研修会の報告 6 交通手段支援ボランティアの募集 7 エコキャップ回収についてをお願い 8 エコキャップ・プルタブ・テレホンカード・使用済み切手収集のお礼

Ⅲ 各事業の実績

1 福祉カー貸出事業

市内の福祉団体や市民を対象に、移動支援を目的としてフリードを貸出（車いす対応）。

貸出時の主な利用目的は、通院・転院となっているが、車いすを使用している方を、旅行やドライブに連れていきたいとの理由で借りる方も多くなっており、障がい者等の社会参加や生きがいづくりにつながっている。

ただし、貸出車両は1台のため、貸出希望日が重複することもあり、お断りすることもある。また、車両の経年劣化も進んでいるのが現状である。

<フリード貸出件数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	R5計
件数	10	9	9	7	11	11	7	6	10	5	6	4	95	99
日数	17	23	14	14	16	20	14	9	12	11	9	6	165	99

2 シルバーテレホン友愛サービス事業

一人暮らし高齢者の安否確認を目的とした毎日型の電話訪問サービス。

現在は7名の利用者に対して、協力ボランティア6名が対応している。

介護保険サービスの利用も浸透してきていることもあり、利用者の多くが毎日型ではなく、サービス利用日以外の安否確認のため利用している。日常生活で人と関わりが少なかったりするため、数分間の電話訪問でも感謝していただいている。

また不在時や緊急時は、民生委員やケアマネジャーとの連携で迅速な対応ができています。

協力ボランティアが高齢になっていることから、ボランティア募集を行っているが、増員には至っていない。

利用者が不在の時は、事前に連絡をもらうことにしているが、利用者が電話連絡を忘れ、不在となることで、安否確認に時間を要することが多くなっている。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	R5計
訪問件数	61	59	52	78	73	79	93	67	70	73	65	69	839	755
相談件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボランティア数	6	6	6	6	5	6	7	7	6	6	7	6	74	76
活動延べ数	21	21	20	22	21	19	23	20	20	19	18	20	244	243

3 子育て支援事業

子ども食堂支援として、フードドライブ等で寄付、寄贈された食品を提供の他、助成金、補助金の案内及び助成プログラムの申請にあたっての推薦書の作成を支援している。

子どもの居場所づくりとして、フードパントリーが開催されているが、子ども食堂としてではなく、「食」と「学び」を提供し、環境づくりや支援が行えることで貧困の解決につながっている。

子ども食堂で月数回フードパントリーが開催されているが、活動内容と運営状況の詳細については把握ができていない。また、食料品価格が高騰する中、今後どのように支援を継続していくかは課題である。

4 車椅子・歩行器貸与事業

車椅子・歩行器は、1か月につき500円で貸出。ただし、1週間以内であれば無料。

退院時や転院時の移動のために新規で貸出をした方が、その後の外出用に再度利用するなどあり、「助かりました」と喜んでいただいている。

長期利用者が増え、貸出できる車椅子が減ってきている。台数の増や短期利用分の確保等の対応策を検討していく。

<個人貸与台数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	R5計
減免有	5	0	2	2	3	4	3	7	1	1	1	1	30	45
減免無	2	5	4	5	6	2	4	5	7	7	7	6	60	38

<行事貸与台数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	R5計
貸与数	7	0	0	0	0	7	7	5	0	0	0	5	31	150

<歩行器>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	R5計
貸与数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4	4

5 福祉緊急救助通報システム設置事業

福祉緊急救助通報システムは、設置時に10,000円の費用を本人が負担。

日中独居を理由に新規設置される市民が、少しずつ増えてきている。

民生委員を通して申請することになっているが、民生委員の一斉改選で、新しく民生委員になる方は事業があることを知らない場合があるため、説明等行いながら民生委員に理解してもらう必要がある。

<過去5年の設置・廃止状況>

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規設置数	29	20	20	9	17
撤去数	71	30	22	23	12
現在の設置数	246	236	234	220	225

6 声の音訳 CD 発行

視覚障がい者を対象に音訳奉仕ボランティアによる「県民だより」及び「広報ふつつ」を音訳で CD に録音し、貸出し（郵送）を行っている。

本会としては、1 団体に 50,000 円の助成金を支出している。

また、録音時にパソコン等の機器を使用するが、機器の経年劣化がでてきている。

団体名	活動内容
いさり火の会	「広報ふつつ」の CD 作成及び発送のため、月 2 回（1 回は編集会議、1 回は録音）、市役所の会議室で活動している。
草笛会	「県民だより」の CD 作成及び発送のため、月 1 回（編集会議及び録音）、市役所の会議室で活動している。

7 福祉教育推進事業

令和 2 年度からのコロナ禍から、職員が学校等に訪問し、車いすやアイマスク体験、高齢者疑似体験等の福祉教育は減少している。令和 5 年度は 1 件、小学校において車いす等の福祉教育を実施した。

令和 6 年度は、福祉機器の貸出のみの実績であった。

また、高齢者疑似体験セットの経年劣化も進んできている。

<福祉機器貸出状況>

貸出先	貸出機器及び内容
特別養護老人ホームつつじ苑	高齢者疑似体験セットを使用し、新人教育を実施
吉野小学校	高齢者疑似体験セットを使用し、総合的学習の時間で高齢者体験を実施

8 ちょっと困ったときのお助け隊

本会職員が一人暮らし高齢者・高齢世帯に対し、業者に依頼するほどではなく、短時間（15 分程度）で対応できる「ちょっとした」困りごとをお手伝いする。利用回数制限は 1 人、月 1 回まで。

相談の電話等を受けた後に、本会職員、又は専門業者のどちらでの対応がよいのかを事務局で協議し、職員対応が可能ならば実施する。

利用される方は、一人暮らし高齢者が多く、支援することで大変喜ばれている。

支援内容
・カーテンレールのフックの取り付け。 ・垂れ下がった玄関チャイムを壁に貼り付け。 ・カーテンの取り換え。 ・エアコンフィルターの清掃のための、取り外しと取り付け。 ・押入れの中につっぱり棒を設置など。

9 地区社会福祉協議会事業

地区社会福祉協議会連絡協議会会議で、各地区社会福祉協議会の取組を知ることができて、よい情報交換になっている。

令和6年度については、事務局に給食サービスの問合せが多くあり、地区社会福祉協議会の会長、又は、民生委員に連絡し、スムーズに対応することができた。

各地区社会福祉協議会が取り組んでいる行事に参加していき、交流を図るという意味でも、取組を知るとい面でも、今後につなげていければと考える。また、各地区社会福祉協議会が発行している広報紙を各地区社会福祉協議会に送付して、情報交換を行うことや、内部だけの情報交換ではなく、外部から講師を招いての研修を実施していきたい。

また、令和5年度末に「ふれあい推進員」の任期満了（任期2年）に伴い、令和6年度に各地区より推薦された「ふれあい推進員」を対象に「委嘱状交付式」及び「研修会」を実施した。

地区社会福祉協議会連絡協議会会議開催状況

開催年月日	内 容
令和6年5月15日	1 富津市地区社会福祉協議会連絡協議会会長及び副会長の選任について 2 各地区社会福祉協議会活動状況について

10 日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者や知的・精神障害者など、判断能力に不安がある人々が地域で自立した生活を営むために、日常的な金銭管理や各種サービスの利用手続きなどを支援している。千葉県社会福祉協議会から委託を受けて実施しており、地域福祉の一翼を担っている。本事業は、契約に基づいた支援であるため、成年後見制度と比べて柔軟性があり、本人の意向を大切にしながら、支援の範囲を設定することができる。

また、専門員及び支援員の存在が、利用者との信頼関係を構築しやすく、孤立の予防にも寄与している。訪問型の支援が基本であるため、生活実態の把握が的確に行われ、問題の早期発見や関係機関との連携強化にもつながっている。

しかしながら、支援内容が限定的であり、悪質な第三者からの被害を完全には防げない点もある。さらに、事業の認知度が低く、支援を必要とする人に届いていないケースもある。

今後は、他制度との連携強化や担当職員の専門性向上が求められる。また、広報活動を通じた事業の周知や利用促進も重要である。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談・訪問調査等延べ回数													
高齢者	4	6	6	6	7	5	6	6	8	6	6	5	71
知的障がい者	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
精神障がい者	2	1	1	1	2	2	1	0	1	1	0	0	12
その他	1	1	1	2	2	2	1	1	0	1	0	0	12
合 計	10	11	11	12	14	12	11	10	12	11	9	8	131
契約者数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	16	15	211

11 ふつつ成年後見支援センター事業

本会による法人後見は、専門性と継続性を活かした後見活動を展開しており、地域に根ざした公益性の高い取組である。

社協による法人後見の大きな利点は、中立性と安定性にある。個人の後見人と異なり、法人後見では担当職員が異動しても組織として継続的な支援が可能であり、本人にとっての安心感につながっている。また、地域の関係機関と連携しやすいという特徴もあり、本人の生活を包括的に支える体制が整えやすい点が評価されている。

専門的知識と高い倫理性を求められる業務であるため、法人後見を担う人材の確保と育成が課題である。

また、後見の中立性が強調される一方で、本人の意思の尊重が形式的になってしまう点が課題と言える。地域福祉の観点からは、本人中心の支援が重要であり、法人としての枠組みの中でいかに柔軟性を持たせるかが、今後の課題となる。

＜相談及び受任者数＞

(単位；件)

	高齢者	障がい者	その他	計
新規相談件数	8	0	5	13
新規受任者数	0	0	0	0
今までの受任者数	16	2	0	18
うち死亡者数	11	0	0	11
現在の受任者数	5	2	0	7
任意後見契約数	3	0	0	3

＜類型別人数＞ (単位；件)

	現在数	延べ数
後見類型	6	16
補佐類型	1	1
補助類型	0	1
計	7	18

＜相談経路＞

(単位；件)

本人	2
親族	0
包括支援センター	1
医療機関	1
行政職員	1
民生委員	0
福祉関係機関	0

12 ボランティア活動促進事業

コロナ禍において、感染症予防のため、ボランティア活動をすることが難しい状況にあった。新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられても、依然のようにボランティア派遣依頼は来っていないが、施設から申請が来た際には、ボランティア団体と連絡を取り、スムーズに対応することができている。依頼した団体からも「久しぶりに依頼が来て、嬉しい。」「是非来年も。」等と声をいただいている。少しずつだが、派遣回数もコロナ終息と共に増えてきている。次の派遣につながる様に、参加者の声を届けたり、お礼の連絡などをしていくことも、ボランティアの励みにもなり重要である。

また、ボランティア活動時の保険であるが、本会が加入しているボランティア活動保険に加入している方には、毎年継続するかどうかの意思確認の連絡を入れるが、連絡がつかない団体等もあり、今後確認していかなければいけない。

令和6年度はボランティア団体への加入希望の相談等、内容に合った案内、提案により、相談支援に努めることができた。

ただし、ボランティア活動保険の案内がスムーズにできないこともあり、資料の読み込みをし、もっと理解が必要である。大事な手続きとなるため、担当職員だけでなく、職員間で確認をとりながら、間違えないように案内していく必要がある。

<ボランティア保険加入状況>

- (1) 団体 51 団体 (961 名)
- (2) 個人 19 名
- (3) 11 地区社会福祉協議会推進員 382 名 合計 1,362 名 (令和7年3月31日現在)

<ボランティア派遣数>

- ・ 3 団体へ派遣依頼 施設でのバザー開催時や敬老会で昇龍太鼓や琴の演奏や踊りの発表

13 ボランティア連絡協議会

「富津市ボランティア連絡協議会」の担当職員を配置し活動した。また、本会から「富津市ボランティア連絡協議会」へ助成金を支出している。

<主な富津市ボランティア連絡協議会活動>

- ・ 役員の運営により、運営委員会、会計監査、総会を実施。
- ・ 広報紙「あしたば」第45号発行 (令和7年3月1日付、区長回覧にて市内全戸へ配布)
- ・ 機関紙「富津市V連協だより」第47号、第48号、第49号発行 (会員へ発行)

<地域別(君津地区)ボランティア研修会>※千葉県ボランティア連絡協議会と共催

開催年月日及び 開催場所	内 容
令和7年1月29日 富津市役所 大会議室	・ テー マ 笑顔で楽しくボランティア ・ 講 演 「心のサプリで健康長寿」 講師 佐久間 勇 氏 ・ 活動発表 各市 1 団体が発表

14 福祉バザー

令和元年より台風や新型コロナウイルス感染症のため、開催の中止が続いたが、令和6年度は久しぶりの開催をすることができた。

しかしながら、中止が続いたことにより、出店団体数が例年の半数程度となった。

また、市民より開催していることを知らなかった等の声をいただいたので、周知方法についての検討が必要である。

開催日時	場 所	出店団体数
令和6年10月19日 10時00分～12時30分	富津市総合社会体育館	10団体

15 富津市社会福祉大会

大会式典と記念講演を実施。新型コロナウイルス感染者数は減少していたが、他の感染症予防も含めて、富津市役所大会議室で小規模であったが開催することができた。

記念講演を聞いた参加者から、「この講演内容で、参加者数が少ないのはもったいない。」等の声をいただいたことにより、今後は開催方法や開催時期について、検討していく必要がある。

開催年月日及び 開催場所	内 容
令和7年1月24日 富津市役所 大会議室	<大会式典> ・開式のことば ・主催者あいさつ ・顕彰 富津市社会福祉協議会表彰 個人11名 団体5 富津市社会福祉協議会感謝状 個人3名 団体1 ・来賓祝辞（富津市長、富津市議会議長） ・閉式のことば <記念講演> 「注文をまちがえる料理店」のこれまでと、これから 講師 株式会社小国士朗事務所 代表取締役 小国士朗 氏

16 法律相談事業

専門職（弁護士）による無料法律相談を実施。

無料法律相談は予約制であるが、毎回ほぼ定員（1日6名）に達し、多い時には次月の予約も埋まる状況である。

キャンセル待ちが出る月も多く、相談希望者は多い。ただし、相談日前日に職員が予約者に出席の確認をしているが、当日急遽キャンセルになる方もいる。

<法律相談実績>

月	開設 日数	予約受付数 (キャンセル 待ち含む)	予約 取消数	相談 実績	予約時の相談内容						
					1	2	3	4	5	6	7
4	2	14	4	10	5	2	1	0	0	4	1
5	2	12	1	11	4	2	2	0	0	2	2
6	2	15	5	10	2	1	2	0	1	4	0
7	2	14	2	12	1	3	0	0	1	3	4
8	2	14	4	10	2	3	0	2	0	3	1
9	2	13	4	9	1	1	1	0	1	2	1
10	2	16	5	11	4	4	1	0	0	5	0
11	2	16	7	9	4	0	1	0	0	5	3
12	2	18	7	11	2	1	1	1	0	5	4
1	2	16	4	12	1	2	2	1	2	3	2
2	2	13	2	11	7	1	1	2	1	0	1
3	2	16	5	11	3	2	0	2	3	2	4
計	24	177	50	127	36	22	12	8	9	38	23
R5 計	24	162	30	132	42	20	12	3	6	30	49

*相談内容の番号… 1. 相続 2. 土地 3. 離婚 4. 家族 5. 近隣 6. 金銭 7. その他

<相談実施後、弁護士による相談内容内訳> ※重複あり

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
生 計	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	4
年 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職業・生業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住 宅	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
家 族	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	1	6
結 婚	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
離 婚	1	2	2	0	0	0	1	1	1	2	1	4	15
健康・衛生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医 療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神保健	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人権・法律	0	2	0	4	0	0	0	1	0	0	1	0	8
財 産	6	7	8	8	9	7	10	7	7	8	9	8	94
事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
児童・母子健康	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・青少年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心身障がい児者福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
母子・父子福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
老人福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦 情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボランティア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近 隣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	4
合 計	11	12	10	12	11	10	11	9	11	12	12	14	135
R5 計	12	11	10	12	10	11	11	11	11	10	10	11	130

17 歳末たすけあい募金配分事業

共同募金会事業である「歳末たすけあい募金」で集まった募金を財源に、各種事業を実施。

令和6年度は、地区社会福祉協議会（給食サービス事業費）・福祉団体への助成及び一人暮らしの高齢者に対し、災害備蓄用食料を配分した。

財源の減少により、災害備蓄用食料のセットが、以前より小さくなったことに対し、数件のクレームがあったが、大部分の方には喜んでいただいた。

ただし、歳末たすけあい運動の事業費は、減少傾向にある中、配分内容の見直しが必要である。

<配分内訳>

配分先	配分数	金 額
地区社協給食サービス利用者	災害備蓄用食料 887 セット	2,613,380 円
福祉団体	6 団体	210,000 円
給食サービス委託費	932 食分	2,236,800 円
合 計		5,060,180 円

*給食サービス委託費は各地区社会福祉協議会に年4回分を配分。

@600 円×人数+2,400（1人分の予備）

<福祉団体配分内訳>

No.	団体名	代表者	金 額
1	富津市手をつなぐ育成会	渡邊明美	40,000 円
2	富津市ジュニアリーダーズクラブ	小柴日菜子	20,000 円
3	富津市子ども会育成連絡協議会	能城多裕	50,000 円
4	富津市あゆみの会	長谷川初子	50,000 円
5	富津市ろうあ協会	三辻康一	20,000 円
6	富津市手話サークル「コスモス会」	武次喜代子	30,000 円
	団体配分合計		210,000 円

18 交通手段支援事業

非課税世帯で外出のための手段のない高齢者を対象にした交通手段支援事業は、ボランティアの協力を得ながら、1人当たり月2回までを限度に実施。広報に掲載する等の周知により、利用件数も、昨年より増加している。

高齢のため運転免許証の返納や疾病により、運転操作が困難な状況で、新たに制度を知り申請する方が増えている。

土日は別居する家族が買い物を行っているようで、平日は通院支援が半数以上を占めている。

利用者数に対し、ボランティア数が不足しているため、ボランティア募集をしているが、増員には至っていない。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	R5計
稼働日数	12	12	11	11	11	9	12	10	9	10	9	12	128	106
買い物利用	5	4	4	4	4	3	4	4	3	4	3	2	44	43
通院利用	7	8	7	7	7	6	8	6	6	6	6	10	84	63
ボランティア	12	12	11	11	11	9	12	10	9	10	9	12	128	106

*ボランティアの人数には職員を含む

19 在宅ケアサービス事業

高齢者・障がい者世帯等を対象に、制度内でのサービスでは賄いきれない訪問介護サービスを必要とされている方に対してヘルパーを派遣。

トラブルもなく、ヘルパーを中心に活動した。利用者は2名解約。令和6年度11月から利用者がいなくなったこと等から休止している。ホームページや広報紙にも休止情報をのせ、市民へ周知を図った。

利用者が0名で、ヘルパーも高齢化により事業廃止の方向で検討している。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者人数	2	2	1	1	1	1	1						9
活動日数	5	5	4	5	3	2	1						25
総時間数	5	5	4	4	3	2	1						24
世帯形態別日数													
障がい者世帯	0	0	0	0	0	0	0						0
延べ時間	0	0	0	0	0	0	0						0
高齢者世帯	2	2	1	1	1	1	1						9
延べ時間	5	5	4	4	3	2	1						24
その他の世帯	0	0	0	0	0	0	0						0
延べ時間	0	0	0	0	0	0	0						0
介護形態割合 (%)													
生活援助	100	100	100	100	100	100	100						100
身体介護	0	0	0	0	0	0	0						0
保育支援	0	0	0	0	0	0	0						0
その他	0	0	0	0	0	0	0						0

20 介護保険事業

介護保険法に基づき、相談・ケアプランの作成、保険請求を行うとともに、介護保険認定審査会で職員が審査員になり、自主財源確保に努めながら、地域市民の介護サービス支援を継続的に行ってきた。

しかしながら、組織的に人員配置が困難な状況になっており、市民の相談に対応していかれるか等踏まえ、令和7年度に検討し、難しいと判断する時は事業所を廃止することも検討していく。

(単位 ; 件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
居宅介護支援	7	2	2	2	2	2	1	1	0	0	0	0	19
介護予防支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
審査会出席数	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	8

21 愛の募金事業

地区社会福祉協議会の財源確保のため実施。愛の募金推進委員会を開催し、実施についての検討を行った。推進委員会の構成員は富津地区・大佐和地区・天羽地区の区長会長及び各地区社会福祉協議会会長である。最近は募金額も増額してきている。ただし、硬貨入金手数料の問題や回覧依頼文書の内容等について検討が必要である。

愛の募金推進委員会開催状況

開催年月日	内 容
令和6年5月15日	1 愛の募金推進委員会実行委員長及び副委員長の選任について 2 愛の募金の実施について 3 現在の状況及び今後の流れについて

21 貸付金事業・法外援護事業

低所得者などが安定した生活を送れるよう資金を貸し付けるもので、千葉県社会福祉協議会委託事業である生活福祉資金貸付事業と富津市社会福祉協議会単独での貸付事業（社会福祉金庫資金と緊急小口資金）がある。

相談者の多くは慢性的に生活に困っている方だが、コロナ特例貸付の償還が令和5年度から本格的に始まったことを受け、コロナ禍以降、生活困窮に陥り、生活を再建できない方からの相談も増えてきている。

また、生活保護を受給するまでの一時的な生活維持の支援を求める方も多く、単なる資金の貸付ではなく、食料支援、就労支援、家計相談など、関係機関と連携しながら包括的に支援を実施してきた。

貸付を希望する方に適切な事業運営を推進できたと考える。償還見込みがないが、生活に困っている方をどのように支援していくかは大きな課題と思われる。生活状況や家族構成などは千差万別なので、各ケースに応じた丁寧な支援ができるよう努めたい。

<貸付事業実績>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
総計	10	33	35	34	31	31	32	109	76	44	56	60	551
内 訳	来所	3	19	27	26	11	19	15	13	12	15	13	189
	電話	7	14	8	8	20	12	17	96	64	29	43	362
① 緊急小口資金	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
② 一般福祉費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 教育支援費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
④ 介護費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 障害自動車購入費	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
⑥ 住宅改修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 療養費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧ 不動産担保型資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨ 〃（要保護世帯向け）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩ 社会福祉金庫資金	0	2	1	0	0	1	1	0	2	0	1	0	8
⑪ 市社協緊急小口資金	1	1	1	2	2	5	0	1	0	0	0	1	14

①～⑨県社協受託事業 ⑩⑪市社協単独事業

<社会福祉金庫資金貸付>

項 目	件 数	金 額
福祉金庫資金貸付	8	255,000 円
償還件数	10	290,000 円
市社協緊急小口資金	14	130,000 円
償還件数	13	125,000 円

<貸付予算額>	1,000,000 円
貸付額	385,000 円
残 額	615,000 円

<法外援護金実績>

所持金のない帰宅困難者に対し、交通費（500 円）を支給。

令和 6 年度は 0 件。

<生活福祉資金債権管理強化事業>

新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（緊急小口資金、総合支援資金）の債権管理を千葉県社会福祉協議会と連携し実施する事業。

借受人の状況把握をメインに事業を推進した。償還が厳しい方も多いのが現状である。今後も積極的にアプローチしていきたい。

また、単に償還を促すだけではなく、借受人の生活課題を明確にし、生活再建につなげていく必要がある。

事業内容		取組件数
借受世帯の実態把握	① 電話・文書・訪問面接等	218
猶予、免除の実施	① 償還猶予	0
	② 償還免除	44
その他、債権管理の強化に関する事業	① 生活保護受給状況の確認	5
	② 県社協とのケース検討会議	48
合 計		315

IV 受託及び委託事業

1 富津市大佐和地区地域包括支援センター事業（設置場所 富津市小久保 2888 番地）

地域包括支援センター業務の入り口となる総合相談は 311 件であった。総合相談の内容としては介護保険関係が全体の 64%と半数以上を占めていた。地域包括支援センターに設置されている 3 職種（主任介護支援専門員・社会福祉士・看護師）で検討を行い、関係機関と連携を図り課題解決に向けて取り組んできた。

総合相談の「その他」は 109 件と多く、身寄りがない方や、精神に障害を抱えている方、認知機能低下により、金銭管理等が困難になっている方等の支援は難題であり、関係機関との連携が必要不可欠であった。他には介護保険の申請や家族関係の問題等、これらのほとんどが長期にわたる支援を必要としており、現在も継続中である。支援終了後は「見守りや声掛けなど一人ではない」ということを伝え、地域でいつまでも安心して暮らし続けられるよう本人はもちろんのこと、各事業所の相談にも対応し支援してきた。

平成 29 年度からスタートした富津市が進める「富津市いきいき百歳体操」では、現在大佐和地区は 16 団体が自主運営として活動しており、閉じこもり防止や筋力低下を防ぐ活動ができた。今後も「富津市いきいき百歳体操」が広まるように活動していきたい。

地域包括支援センターは、介護保険サービス調整や高齢者の相談、相続、障がい、生活の困窮等相談が多岐にわたるため、ケアマネジャーや関係機関との連携も重要であり、職員の資質向上を行うことも重要課題の一つである。3 地区包括主催での研修開催や富津市ケアマネジャー協議会と協働で研修会も実施しており、今後も市役所担当部署や 3 地区の地域包括支援センターと検討、協力しながら活動を進めていきたい。

	総合相談								業務 マネジメント 包括的・継続的ケア マネジメント支援	ケアマネジメント 業務 ----- 件数 * () 委託件数
	介護保険の申請の相談	介護（予）給付の相談	総合事業に関する相談	虐待に関する相談	権利擁護に関する相談	成年後見制度の相談	その他	合計		
4 月	7	8	0	0	0	0	4	19	1	105 (27)
5 月	9	14	0	0	0	0	7	30	0	102 (26)
6 月	3	9	0	0	0	0	3	15	1	101 (26)
7 月	10	12	1	0	0	0	16	39	1	98 (23)
8 月	9	7	0	0	0	0	11	27	0	97 (22)
9 月	6	15	0	0	0	0	11	32	1	98 (23)
10 月	9	15	0	0	0	0	10	34	0	102 (23)
11 月	4	9	0	0	0	0	4	17	1	104 (22)
12 月	7	10	0	0	0	0	9	26	0	102 (22)
1 月	2	5	0	0	0	0	13	20	1	105 (23)
2 月	3	7	0	0	0	0	15	25	1	99 (22)
3 月	8	12	0	1	0	0	6	27	0	101 (23)
合計	77	123	1	1	0	0	109	311	7	1,214 (282)
R5 計	96	122	16	3	0	0	123	360	5	1,289 (319)

<富津市大佐和地区地域包括支援センター その他事業実績>

1	富津市いきいき百歳体操教室 (1) 弁天区集会所(★) 30回実施(参加者78名) (2) 大貫ふれあいシニア館 (3) 中央公民館 (4) 憩いの里オリーブ (5) 鶴岡区個人宅 (6) 笹毛区公民館 (7) 西大和田青年館 (8) 佐貫コミュニティセンター (9) 鶴岡八幡神社参集所	(10) 中公民館 ※(3)とは別団体 (11) 八田沼集会場 (12) 近藤区集会場 (13) 上公民館 (14) 絹青年館 (15) 一色・障子谷青年館 (16) 船端集会場 (17) 中荒公会堂
	★自主運営に向けて職員が支援中。★がない団体は自主運営団体。自主運営団体には職員が運営の相談や体力測定を実施している。各団体、毎週1回教室を開催。	
2	ケアマネジャー事例検討会 (1回 15名参加)	
3	ケアマネジャー研修会 (3回 108名参加)	
4	3地区包括・ケアマネ協議会・基幹相談支援センター合同研修会 (1回 40名参加)	
5	認知症メモリーウォーク・千葉in富津 (1回 対象:市民)	
6	よしのサロン講師派遣(1回 32名参加)	
	①包括支援センターとは ②介護保険について	
7	民生委員各相談 (8件)	

2 富津市民生委員児童委員協議会運営事業

「富津市民生委員児童委員協議会」の事務局として、役員及び各民生委員・児童委員と連携を図り活動をした。

事務局業務としては、役員会及び監査会、定期総会、毎月の定例会議の資料作成から、定例会の講師等との調整。また、千葉県民生委員児童委員協議会との連携や提出物の作成など多岐にわたる。

その他にも民生委員・児童委員からの相談に対応すると共に、市民からの相談により、状況に応じて民生委員・児童委員へつなぎ、相談者の支援も実施している。

令和7年度は民生委員・児童委員の一斉改選により、新たな富津市民生委員児童委員協議会の組織改編も控えている。改選時には、行政をはじめとする関係機関と連携した新任民生委員へ研修等を着実にを行うことと、業務のスムーズな引継ぎが行えるよう、役員及び行政担当部署等と協議、調整しながら運営に努めていきたい。

会議名	内 容
役員会	2か月に1回開催し、協議会の運営を検討。 令和6年度は5月、7月、9月、11月、1月、3月に開催
監査会	4月に開催し、事業内容及び会計の監査を実施
定期総会	5月に開催
定例会議	毎月、3地区の定例会を開催 令和6年度は4月、8月、11月に3地区合同の定例会を開催
主任児童委員定例会議	年4回開催 令和6年度は4月、9月、12月、2月に開催 ※定例会以外で座学研修「こども虐待について」及び「こども食堂」に視察と実地体験を実施

3 老人クラブ運営事業

「富津市老人クラブ連合会」の事務局として活動した。

役員と打ち合わせ等を念入りに行い、事業を実施することで、会員の社会参加及び生きがいくくりや健康増進に努めた。

また、君津四市の老人クラブ連合会で構成される協議会事業や千葉県老人クラブ連合会が実施する事業へも積極的に参加をした。

近年、会員数の減少がある。

<令和6年度会員数>

単位老人クラブ	会員数
6団体（富津2、天羽4）	140名

<一般会計事業>

会議名等	内 容
富津市老連 役員会・理事会・三役会	各1回開催
富津市老連 監査会	4月に開催し、事業内容及び会計の監査を実施
富津市老連 定期総会	5月に開催
君津四市老連 理事会	君津四市老連会員の交流、生きがいくくり検討のため開催
富津市老連 芸能大会	年3回実施（カラオケ、踊り等）
君津地区老人クラブリーダー研修会	単位老人クラブ連合会会長を対象に研修会を実施
第50回君津四市老連 囲碁・将棋大会	上位者は第50回千葉県シニア囲碁・将棋大会に進出
第58回なのはなシニア千葉特選演芸会	千葉県老人クラブ連合会と共催により開催

<特別会計事業>

No	内 容
1	富津市老連 グラウンドゴルフ大会（年2回）
2	富津市老連 輪投げ大会（年1回）
3	富津市老連 歩け歩け大会（富津・大佐和・天羽支部の各支部において実施）
4	富津市ふれあいスポーツフェスタ（開催協力）
5	君津四市老連 スポーツ大会（年1回）
6	君津四市老人クラブ会員健康づくり事業「ボッチャ体験会」（年1回）
7	千葉県シニアグラウンドゴルフ大会（年1回）

4 生活困窮者自立支援事業及び被保護者就労支援事業

(くらしと仕事の相談支援センター 設置場所 富津市役所 1階 環境保全課隣)

<事業概要>

- ・経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方の相談窓口。
(生活困窮者自立支援事業)
- ・就労可能な被保護者で、個別支援を行うことで就労が可能な被保護者への就労支援。
(被保護者就労支援事業)

<事業状況>

- ・60歳以上が半数を占めており、障がいを持している方からの相談も増加している。相談者の男女割合は男性が約60%であり、就労支援が多くを占めている。就労支援では80歳以上の方もいる。
- ・相談者の意思決定を尊重しながら、自立を促すための支援を実施している。
- ・相談の内容を聞き取りし、課題の整理を行い、課題等内容により当センターだけでなく関係機関と連携やつなぐ支援を実施した。相談者の就労に対して、履歴書作成支援や職場見学の同行、模擬面接、面接への同行等を行い、就労につなげることができた。
- ・障がい者の相談が増えてきていることから、「富津市基幹相談支援センターえこ」とケース検討会を毎月実施し、支援方法を検討している。また、君津4市生活困窮者自立支援事業従事者で、ケース検討会等を2か月に1回実施するとともに、関係機関の職員も参加し、ネットワークづくりを行っている。

<相談及び支援実績>

生活困窮者自立支援事業													被保護者就労支援事業			
月	新規相談者数	新規相談経路 (重複有り)				支援ケース支援 (延べ回数)			就労支援対象者		就労開始者	就労収入の増	月	対象者	訪問・電話 (延べ回数)	就労開始者
		本人	知人・家族	関係機関等	その他	電話	同行	訪問・面談								
4	15	13	3	2	0	47	26	36	8		0	0	4	17	40	0
5	9	9	2	3	0	51	19	27	6		4	1	5	17	45	0
6	9	9	1	3	0	77	15	29	7		2	0	6	17	39	1
7	3	3	0	0	0	65	18	26	3		6	2	7	17	38	0
8	8	7	1	3	0	44	24	20	5		5	2	8	18	47	0
9	11	6	1	5	0	41	15	30	7		4	1	9	18	40	0
10	8	6	1	3	0	43	19	24	4		1	1	10	18	40	1
11	2	2	0	0	0	38	11	11	2		1	1	11	19	29	0
12	3	3	0	0	0	42	3	25	2		3	2	12	19	37	0
1	5	4	2	1	0	41	7	43	3		4	1	1	19	27	0
2	6	3	0	3	0	51	10	31	2		1	0	2	20	30	0
3	6	5	1	3	0	35	24	28	2		7	3	3	20	30	0
合計	85	70	12	26	0	575	191	330	51		38	14	合計	219	442	2
R5計	94	85	11	13	3	295	97	150	50		31	7	R5計	202	478	1

<住居確保給付金事業>

住居を失うなどの可能性がある方（就労活動を行える方）で、市が定める条件を満たしている場合に当センターへ申請し、市が決定した方へ生活保護基準の住宅費を3か月支給。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3

<家計改善支援事業>

家計収支の均衡がとれないなど、家計に課題を抱える方への相談支援事業。一緒に家計表を作成し、対象者が自分自身で家計の課題を把握していく。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

<就労準備支援事業>

支援対象者に職場体験や履歴書作成支援、模擬面接、面接同行等を行う就労支援事業。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	4	1	1	3	2	3	2	0	0	2	0	2	20

V 社会福祉協議会会費・愛の募金・共同募金・たすけあい募金推移

1 富津市社会福祉協議会会費

(単位：円)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般会費					
富津地区	2,678,900	2,646,800	2,590,500	2,574,100	2,459,200
大佐和地区	2,218,200	2,242,360	2,213,560	2,164,510	2,112,800
天羽地区	1,985,600	1,972,000	1,961,800	1,929,400	1,871,200
一般会費計	6,882,700	6,861,160	6,765,860	6,668,010	6,443,200
特別会費					
市職員	57,600	57,600	57,600	63,600	62,400
区市民特別会費	8,400	2,400	7,200	7,200	3,600
社協役員			18,000	19,200	19,200
特別会費計	66,000	60,000	82,800	90,000	85,200
法人会費	933,000	1,033,000	1,113,000	1,043,440	1,041,090
合 計	7,881,700	7,954,160	7,961,660	7,801,450	7,569,490

2 愛の募金

(単位：円)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地区社協名					
富 津	243,879	271,772	322,509	290,511	276,658
青 堀	403,580	393,063	458,720	391,364	427,336
飯 野	309,859	287,791	360,644	311,021	283,238
富津地区合計	957,318	952,626	1,141,873	992,896	987,232
大 貫	400,047	392,065	442,179	474,702	442,811
吉 野	231,287	211,742	226,918	244,403	209,905
佐 貫	256,790	243,919	257,633	268,280	278,958
大佐和地区合計	888,124	847,726	926,730	987,385	931,674
湊	240,062	241,519	264,058	268,357	268,040
天 神 山	153,620	155,634	173,040	187,965	184,707
竹 岡	125,424	124,763	122,122	134,510	135,886
金 谷	117,558	129,913	136,166	157,313	152,453
峰 上	241,266	227,507	234,890	259,577	273,787
天羽地区合計	877,930	879,336	930,276	1,007,722	1,014,873
富津市全区合計	2,723,372	2,679,688	2,998,879	2,988,003	2,933,779
新富工場協議会	61,072	31,728	36,387	26,599	53,658
その他	68		824		
合 計	2,784,512	2,711,416	3,036,090	3,014,602	2,987,437

3 赤い羽根共同募金

(単位 ; 円)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
戸別募金	5,400,850	5,347,100	5,356,205	5,118,250	5,043,200
学校募金	65,793	93,340	67,305	69,766	87,150
職域募金	42,458	40,543	43,098	46,028	45,839
その他募金	121,015	118,500	145,258	151,492	567,239
個人募金		58,379	53,000		
法人募金	482,850	510,090	454,275	538,074	501,855
合 計	6,112,966	6,167,952	6,119,141	5,923,610	6,245,283

4 歳末たすけあい募金

(単位 ; 円)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
戸別募金	4,434,050	4,419,955	4,385,180	4,239,301	4,195,255
職域募金	47,296	43,498	51,247	56,864	41,799
その他募金	12,295				
法人募金	497,659	604,103	476,861	469,146	444,043
個人募金			2,950		
合 計	4,991,300	5,067,556	4,916,238	4,765,311	4,681,097